

# ひらんぽ



## サブリ探偵 ひらんぽが行く 広場さぶり

「おやこの広場 広場さぶり」は、サブリ村野南館1階の図書館村野分室向かいにある地域子育て支援拠点で、市内の幅広い地域から親子が来所しています。

室内は、事務所エリアと広場エリアに別れています。事務所エリアには、「広場さぶり」の窓口と「枚方市ファミリーサポートセンター（略称..ファミサポ）」の窓口、広場エリアには、ハイハイまでの赤ちゃん用の「赤ちゃん広場」と、歩き始めたばかりのお子さんが安全に広く動き回れる「二コニコ広場」があります。

「ファミサポ」とは、子育ての援助が必要な家庭（依頼会員）と援助できる人（提供会員）をつなぐ有償ボランティアの会員組織です。保育付きの登録説明会が枚方市の各所で月に数回実施されており、何かありましたときのための「お守りがわりに登録」という方もいるそうです。

提供会員や両方会員の養成講座を年に2回開いており、さまざまな年代の方が受講されています。ファミサポの若松さんは「子育てに多くの人が関わり、地域全体で協力し合いながら子育ての街をつくりたい」と仰っていました。

広場さぶりでは、自由に遊べる広場だけでなく、年齢別のプログラム、プレママや父親対象のプログラムも実施しています。また、親子で自主的に行うサークル活動も活発です。コロナ禍の影響で、午前・午後の2部制となりましたが、入れ替わりの時間に職員が換気や消毒作業をするなど対策を行っています。広場さぶりの今井さんは「親子の居場所づくりや、広場に来所できない人にも足を向けてもらえるような情報発信を行いたい」と仰っていました。

枚方市内には「おやこの広場」が13箇所あり、親子の遊び場として活用するだけでなく育児相談などもできます。地域のみんなで子育てを応援し、子どもに優しい街をつくっていきたいですね。

（文・山崎泰智）

**広場さぶり** (TEL / FAX : 072-807-5336)

開室：9時30分～16時（水・日・祝を除く）

**枚方市ファミリーサポートセンター**

(TEL / FAX : 072-805-3522)

開室：9時30分～17時（水・日・祝を除く）



# NPO法人格取得のための講座



1998年に特定非営利活動促進法が制定されてから、被災者支援、食育、環境問題、ヤングケアラーなど、さまざまな社会課題の解決のために、NPOが活躍してきました。今回は、「NPOってなに?」ということから、「実際にNPO法人を取得するためにはどうしたらいいのか?」まで受講できる連続講座を開催しました。

「NPO基礎講座」では、NPOの定義とは?、ボランティア・市民活動との関連性、実際のNPO活動について紹介。NPOとは、非営利団体のことですが、NPO法人だけのことではありません。地域のお困りごとのたまり地図を作成する団体もNPO。つまり、日常的にボランティア活動をしている団体もNPO。つまり、日常的に知らない団体がNPOです。

「NPO法人格取得のための講座」では、法人格を取得するとは、どういうことか、また実際に法人格取得のために必要な手続きや書類の書き方のポイントなどについて話しを聞きました。

枚方市のホームページからもダウンロードできる「NPO法人設立・運営の手引」に沿って、どこを見たいいか、ページを確認しながらの説明はとてもわかりやすかったです。最後に、枚方市の職員の方から、定款や事業計画書などの書類の間違いやポイントについて教えていただきました。

両講座共通して話されたことは、NPOを始めるためには、まず仲間づくりが必要、共に活動できる人を見つけてほしいということです。

ひらかた市民活動支援センターでは、行政と連携し、NPOやNPO法人格取得などの支援を行っています。ご相談があれば、ぜひお問合せください。(文・重村雅世)

2/18  
(土)  
開催

# NPO基礎講座

「NPO基礎講座」では、NPOの定義とは?、ボランティア・市民活動との関連性、実際のNPO活動について紹介。NPOとは、非営利団体のことですが、NPO法人だけのことではありません。地域のお困りごとのたまり地図を作成する団体もNPO。つまり、日常的にボランティア活動をしている団体もNPO。つまり、日常的に知らない団体がNPOです。

「NPO法人格取得のための講座」では、法人格を取得するとは、どういうことか、また実際に法人格取得のために必要な手続きや書類の書き方のポイントなどについて話しを聞きました。

枚方市のホームページからもダウンロードできる「NPO法人設立・運営の手引」に沿って、どこを見たいいか、ページを確認しながらの説明はとてもわかりやすかったです。最後に、枚方市の職員の方から、定款や事業計画書などの書類の間違いやポイントについて教えていただきました。

両講座共通して話されたことは、NPOを始めるためには、まず仲間づくりが必要、共に活動できる人を見つけてほしいということです。

ひらかた市民活動支援センターでは、行政と連携し、NPOやNPO法人格取得などの支援を行っています。ご相談があれば、ぜひお問合せください。(文・重村雅世)



## まちづくり井戸端会議

2022年度は、4月から毎月第3火曜日に開催しました。希望者がいればオンライン参加もありましたが、やはり対面でお話しをすると、皆さんの熱量を感じられます。

毎回10人前後の人々が集まり、NPO活動の団体や地域・行政の方、受験など、話題提供者も豊富です。普段はつながりのない人と交流でき、その後、事業と一緒にされる場合もあります。新たな出会い、新たな話題を聞きに参加しませんか?

## 2023年度の開催予定

毎月第3(火)18:30~20:00

サプリ村野 南館2階 市民活動研修室

## NPOトピックス

### コロナを経て変わる手続き

年度末で事業報告や決算で大忙しの皆さんも多いと思います。令和5年度(2023年度)より、これまで所轄庁に書面で提出していたNPO法人の申請・届出等について、ウェブサイトを通じてオンラインで入力・提出することが可能となります。(大阪府下での導入時期はまだ未定。)その他、法務局での登記等もオンラインで可能となっています。

コロナを経て、印鑑不要や総会のオンライン開催など、NPOを取り巻く状況は大きく変化しています。2023年度は、消費税のインボイス制度(適格請求書等保存方式)など、さまざまな情報について、ひらかた市民活動支援センターに寄せられた相談等より、少しづつ解説する機会を設けていきたいと思います。お聞きになりたいことがあれば、お問い合わせください。

助成金情報は「ひらせんデータバンク」へ



NPOや市民活動で助成金申請を検討するためにご活用ください。

<https://sites.google.com/view/hirasen-databank/grant>



# ソーシャルオープンイノベーションチャレンジ2022

## チャレンジコンテスト

昨年8月開催された「アイデアコンテスト(97号掲載)」の内容に、具体的な課題解決策を発表する「チャレンジコンテスト」が、1月18日(水)オンラインで開催されました。当日は、学生含め約120人が参加し、エントリーした26チームから予備審査でノミネートされた10チームが発表。貢献度、独創性、完成度、波及効果、計画性の5項目で評価されました。

今年度、ひらかた市民活動支援センターもこの事業に参画し、登録団体でもある「特定非営利活動法人ハーモニークラブ」と「ひらかたフレーパーク実行委員会」が、「課題提案団体」に採用されました。この2団体の課題に

エントリーしたチームの内、予選を通過した各1チームが発表しました。

(特活)ハーモニークラブの課題「えほんライブ効果の可視化」には、2チームがエントリー。2チームとも高度な技術で取り組み、ステークホルダー賞が贈られました。コロナ禍のために期待した成果には至りませんでしたが、アドバイザーの先生からは「今後、検討を発展させて研究成果を学会発表したい」とのコメントがありました。

ひらかたフレーパーク実行委員会の課題は、「新型コロナウィルス対策として、適正な参加者数の把握」と「バーチャルフレーパーク」でした。1つの課題には、ビーコンセンサーをスマートアプリでチェックして、グーグルスプレッドシートに自動記入する混雑状況見守りシステム「EE(良い)システム」を開発していました。見事、北大阪商工会議所賞を受賞されました。もう1つの課題には、360度カメラで撮影した画像を使って、ストリートビューのように閲覧できるシステムとゲームエンジンを使ったクイズ機能のある図鑑システムを併せたホームページの開発をしていただきました。

2023年度の開催については、主催者より情報が入り次第、ホームページなどで情報提供いたします。当日の様子は、大阪工業大学情報科学部のホームページに掲載されています。(文・高尾千秋)



昨日12月3日(土)に、特定非営利活動法人すがはらひがしの設立15周年式典に参列させていただきました。当日は同団体の役員と会員を始め、連携して活動してきた行政や大学、地域住民の皆さんのが集まり大盛況でした。地域コミュニティがNPO法人を取得することは、当時大変珍しかったのを覚えています。ひらかた市民活動支援センターも及ばずながら設立のお手伝いをさせていただき、その後も当センターの団体会員として、さまざまな活動を共にしてきました。理事長の宮原さんのご挨拶を聞いていると、コミュニティサロン「ぶらつと」でいただいたランチのおいしかったこと、小学生と高齢者が囲碁を真剣に打っている様子など、地域のいこいの場所としてステキな空間を作つてこられたことが思い出されます。



## 祝 設立15周年！ 特定非営利活動法人 すがはらひがし

後半の当時大阪国際大学におられた田中教授(現日本福祉大学)による記念講演からも、学生と地域の方々とのつながりを作る場となっていたことがよくわかります。しかもそのつながりは、現在も続き、当時学生だった方が大阪国際大学の教員となり、また新たな取り組みを始めるとの発表もありました。こういった学生の動きは同団体が運営している子ども食堂やいきいき広場にもつながっているそうです。

「すがはらひがし」のこれから5年10年が楽しみになる式典でした。(文・重村雅世)



## ちょと一息 心の山桜

場所ごとに仲間ができて生きてきた

生きてきた



落ちこむ日 自分にお世辞 いつてみる



作・高橋 佳子



代表理事・濱島淑恵さん

# 『NPO法人ふうせんの会』主催シンポジウム ヤングケアラーが「いきる」社会をつくる

NPO法人ふうせんの会は、家族のケアを担うヤングケアラーが自分らしく「いきる」ことができる社会をつくるために活動している団体です。2月13日(月)、枚方市総合文化芸術センターにて、同団体と枚方市が共催したシンポジウムに参加しました。

前半は、同団体代表理事で大阪歯科大学教授の濱島淑恵さんによる基調講演。ヤングケアラーに関する概説、実態調査から見える現状や支援の課題について紹介がありました。全国調査では、子ども・若者の約45.6%がヤングケアラーという結果だそうです。世間では、ケアが長時間にわたる事例が注目されていますが、実際には短い場合が大半のようです。家事や見守り、年下のきょうだいの世話などの日常的ケア以外にも、外出時の介助や感情的サポートを担う方もいるなど、ケアの内容や時間には個人差があるそうです。相手に寄り添いながら理解することや、家族への支援を行うことが、必要な支援として挙げられました。

後半は、当事者や支援者が登壇して、支援の現状や課題について、パネルディスカッションを行なわれました。有料老人ホーム等を運営している株チャーム・ケア・コーポレーションでは、関係機関と連携した就労支援や奨学金支援、家族を対象とした息抜き支援の取り組みを実施。枚方市社会福祉協議会では、コミュニケーション等を行なっているNPO法人ひらかた市民活動支援センターは、YOUTUBEで活動しているスクールソーシャルワーカーからは、小学生から高校生までのヤングケアラーの特徴、当事者やその家族に対して効果のある支援と危険な対応の具体例が紹介されました。当事者からは、子どもとの連携強化に取り組んでいます。現場で活動しているスクールソーシャルワーカーからは、小学生から高校生までのヤングケアラーの特徴、当事者やその家族に対して効果のある支援と危険な対応の具体例が紹介されました。当事者からは、子どもを見守りやすい環境を整備することが必要と仰っていました。

シンポジウム終盤の「ヤングケアラーの侧面だけではなく多面的に相手を見てほしい」という当事者の言葉が、特に印象的でした。全ての人が安心して生きられる社会を目指して、「小さなおせっかい」が広まっていくといふ思います。(文・山崎泰智)



パネルディスカッションの登壇者

## ひらせんライフライト 2022年度購入図書

- Google Workspace 完全マニュアル  
(著:桑名由実)
- Google Workspace 導入ガイド  
(著:荒木孝一・井上健語)
- 夢の猫本屋ができるまで (著:井上理津子)
- 63人の復興起業家たち (iSB公共未来塾)
- 日本ボランティア・NPO・市民活動年表  
(石田易司・他7人)
- ボランティアのすべて!  
(県民ボランティア総合センター運営協議会)

ひらかた市民活動支援センターでは、NPOやNGO、ボランティア、まちづくりや防災に関する書籍を中心に所蔵しています。

これらの書籍は、サブリ村野内の市民活動ネットワークルームで自由に閲覧でき、枚方市内在住・在勤・在学の方には、貸し出しも行っておりますので、ぜひご利用ください。

『主催・企画運営』 枚方市・特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター

踏み出す一歩が、あなたの宝物に。

**2023 春休み  
ボランティア体験**

2022年夏の取り組みに引き続き、この春にも中学生以上の生徒・学生を対象にした「ボランティア体験」を実施しています。

今回は、9団体の協力のもと、3月10日(金)から4月8日(土)までの間に、12プログラムを実施予定。

### プログラム提供団体

- ①障害者生活介護事業所ミント
- ②ひらかたプレーパーク実行委員会
- ③郷美乃会
- ④特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畠
- ⑤特定非営利活動法人ハーモニークラブ
- ⑥NPO法人ひらかた生物飼育部LABO
- ⑦枚方自助工具房
- ⑧NPO法人スノック
- ⑨みんなでつくる学校とれぶりんか



学校の防災授業



地域の自主防災訓練

# 学んで守ろう



## わが身わがまち

2022年度は、少しずつ地域や学校の防災訓練を再開するところも多くなり、各所で「防災小学校」を行なつたり、自分たちの学びとなる研修にも参加しました。11月には、地域での自主防災訓練で、災害時に備えたトイレの準備について説明。小学校では4年生を対象に防災授業を実施。クロスロードのカードゲームで、いざという時の行動について、保護者や学校関係者と考えました。コロナ禍でなかなか訓練に集まるることは難しいですが、それぞれ真剣に取り組まれてました。

12月は、枚方市社会福祉協議会主催の「災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション」に参加。北河内地域の社協の職員の皆さんと共に、実際の災害ボランティアセンターの流れや動きを体験し、いざという時の連携を確認しました。

1月は、例年開催される「天の川とんど祭」に参加し、東北・気仙沼の炎に世界平和を祈りました。

2月は、枚方市社会福祉協議会主催の「よどがわ防災まつり」に参加しました。普段つながりがあまりない福祉や医療関係の出展もあり、とても参考になりました。

現在もトルコ・シリアの大地震をはじめ、多くの災害が世界中で起こっていますが、必ず自分の身にも起りうることだと思って、お互いに声をかけ、日ごろからの備えを心がけたいと思います。（文・重村雅世）



よどがわ防災まつり



天の川とんど祭



災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション



## サプリ村野学校

## 2022年度実施



人間関係のストレスを減らす心理学講座



面白マジックショー&amp;マジック教室



科学実験教室



こどもフラダンス

\*マスクチャームを作ろう (4/17)

\*ソープフラワーのBOXアレンジ (5/8)

\*はじめてのフラダンス (5/15)

\*自然療法勉強会はじめてのファスティング (5/15・8/21)

\*マタニティカフェ (6/19)

\*成年後見制度について (6/19・12/18)

\*未来を創るスタディサークル

(6/19・9/18・12/11)

\*英語で遊ぼう (6/23)

\*人間関係のストレスを減らす心理学講座 (7/17)

\*50歳からの演劇入門 (7/21)

\*苔テラリウム (8/11・1/15)

\*パステル画で心をつなぐ「てぶくろ」プロジェクト (8/14)

\*メンズ(男性)ヨガはじめて体験 (9/15)

\*面白マジックショー&マジック教室 (10/10)

\*科学実験教室 (10/10)

\*出産が楽しみになるマタニティコンサート (11/20)

\*こどもフラダンス (12/18)

\*片手編み機教室 (1/15)

\*安産の準備にマタニティヨガ&呼吸法 (3/12)

\*彩夢トトから新米パパへの子育てメッセージ (3/19)

2022年度のサプリ村野学校は、少しリニューアルして実施。15団体が25の講座やワークショップを行いました。ようやくコロナも落ち着いてきたので、2023年度はより多くの団体や市民の皆さんにサプリ村野を利用していただけるように、実施提案をさせていただきたいと思います。開催については、毎月の広報ひらかたや、ひらかた市民活動支援センターのホームページなどでご案内していくので、ご確認ください。なお、サプリ村野学校の実施を希望される団体は、ひらかた市民活動支援センターまでお問い合わせください。（電話・072・805・3537）

NONN年度

## ボランティアの活動報告

- ・広報紙「ひらんぽ」発行準備や記事の執筆
- ・チラシや機関紙の配達（サプリ村野から市役所へ）
- ・ひらかたNPOフェスティバルの準備運営
- ・「ひらかた市民活動支援センター」の倉庫の片付け
- ・防災イベントでの物販、出張講座
- ・バーレーンアートでの季節装飾
- ・学生を対象にした事業でのファシリテーター
- ・ボランティア講座でのゲストスピーカー
- などの活動に、およそ50人が参加してくださいました。



ひらかた市民活動支援センターの事務所、「市民活動ネットワークーム」は、旧村野小学校を廃校利用した「サプリ村野」の中にあります。これまで、9時30分から20時30分まで開室しておりましたが、4月から19時までと短くなります。なお、日曜日と第4火曜日については、今までどおり9時30分から17時30分です。（※水曜日と年末年始はお休み）変更に伴い、利用者の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

2023年3月31日(金)まで

月・火・木・金・土 9時30分～20時30分

日・第4火曜日 9時30分～17時30分



2023年4月1日(土)から

月・火・木・金・土 9時30分～19時

日・第4火曜日 9時30分～17時30分

## 編集後記



今回は、講座や事業の報告事項と、団体紹介が盛りだくさんで、とっても読み応えのある仕上がりとなったと思います。心なしか、いつも以上に文字文字しててる気もしつつ…。それはさておき、春は、卒園、卒業、退社・退職、入園、入学、入社・入職、異動といった「出会いと別れ」の季節。どんな形であれ、出会いがあれば別れもあることを忘れずに…。（編集者・M）

### 【編集・発行】

特定非営利活動法人 ひらかた市民活動支援センター

〒 573-0042

大阪府枚方市村野西町5-1サプリ村野内

TEL : 072-805-3537 / FAX : 072-805-3532

Eメール : info@hirakatanpo-c.net

<https://www.hirakatanpo-c.net/>



## イラストだより



キャンディはスリランカの中央部にあるシンハラ王朝の都だったところです。瀟洒なホテルがあったのでチェックイン。

後で分かったのですが、そのホテルはビクトリア調の格式のあるクイーンズホテルで、その夜、年に1度のペラヘラ祭りがありました。2階のバルコニーからすぐ下を、仏舎利を担いだ着飾った象が練り歩きます。ラッキー以外の何ものでもありませんでした。

翌日は紅茶で有名なヌアラエリアへ行きました。籠に茶葉を入れた素朴な少女が歩いていたので写真を撮るジェスチャーをするとOKのサイン。しかし、後できっちりモデル料を請求されました。どこが素朴やねん。トホホ（イラスト・文／向井 範雄）



特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター  
@hiracen



ひらかた市民活動支援センター公式インスタ  
@hiracen\_info



ひらせん(ひらかた市民活動支援センター)  
@hiracen\_info



特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター  
公式キャラクター「ひらんぽ」LINEスタンプ  
<https://store.line.me/stickershop/product/19668408/ja>



ひらかた市民活動支援センターYouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCnqmRJf1jdpNx8bsdCRKNgQ>

